

男の子、天での戦い、勝利を得た聖徒たち

聖書：啓 12:5, 7-11

- I. 「彼女は一人の子、男の子を産んだ。この子は鉄の杖^{つえ}で、すべての諸国民を牧養することになっている。彼女の子供は、神に、神の御座に携え上げられた」——啓 12:5 :
- A. この「産んだ」は、使徒行伝第 13 章 33 節から 34 節にあるように、復活を表徴します :
1. 男の子は、死んで復活させられた勝利を得た聖徒たちから成っています。
 2. これは、啓示録第 12 章 11 節の「死に至るまでも」という言葉で証明されます。
- B. 聖書で、女は弱い者を表徴し、男は強い者を表徴します——I ペテロ 3:7 :
1. 啓示録第 12 章における男の子は、神の民の強い部分を表徴します。
 2. 男の子が鉄の杖ですべての諸国民を牧養することは、第 2 章 26 節から 27 節で述べられたように、男の子が勝利者から成っていることを示しています。
- C. 携え上げられるとは、引き上げられることです :
1. 男の子の携え上げは、I テサロニケ第 4 章 17 節に述べられている大多数の信者たちの携え上げとは異なります。
 2. そこでは、大多数の信者たちが携え上げられるのは、空中に、最後のラッパ(I コリント 15:52. I テサロニケ 4:16)、すなわち第七のラッパ(啓 11:15)の時です。
 3. ここで男の子が携え上げられるのは、神の御座に、千二百六十日の前、すなわち第五のラッパの前の第六の封印(9:1)から始まる三年半(四十二か月、12:14. 13:5. 11:2)の大患難の前です。
- II. 「天では戦いがあった」——啓 12:7 前半 :
- A. 男の子が天に携え上げられた直後に、ミカエルとその御使いたちは、サタンに対して戦いを始めます :
1. これは男の子、すなわち神の民のうちの強い部分が、常に神の敵サタンとの戦いに従事していることを示しています。
 2. 彼らは絶えず地上でサタンと戦ってきました。
 3. 天は彼らがそこに到着するのを待って、サタンを天から投げ出すための戦いを起こします。
 4. 聖書は二人の御使いの名、ミカエルとガブリエルを啓示しています。
 5. ガブリエルは報告者であり、神の民に知らせをもたらします(ダニエル 8:16. 9:21-22. ルカ 1:19, 26)。ミカエルは神の民のために戦う者です(ダニエル 10:13, 21. 11:1. 12:1. ユダ 9 節)。
- B. 「龍とその使いたちは戦った」(啓 12:7 後半)。これらの使いたちは、墮落した天使たち、サタンに従って神に敵対した者たちであるはず(マタイ 25:41)。
- C. 神の敵サタンは、主イエスによって十字架上で裁かれました——ヨハネ 12:31. 16:11 :
1. その後、勝利を得た信者たちがその裁きを完成し、その宣告を執行する必要があります。
 2. サタンに敵対する勝利を得た信者たちによって戦われる戦いは、實際上、彼に対する主の裁きを執行することです。
 3. 最終的に、彼らの戦いによって、サタンは天から投げ出されます——啓 12:7-9。
- III. 「今、わたしたちの神の救いと力と王国と、彼のキリストの権威とが来た。わたしたちの兄弟たちを訴える者、昼も夜もわたしたちの神の御前に彼らを訴える者が、投げ落とされたからである。兄弟たちは、小羊の血のゆえに、また彼らの証しの言のゆえに、彼[悪

魔]に打ち勝った。彼らは死に至るまでも、自分の魂の命を愛さなかった」——啓 12:10-11 :

A. 兄弟たちは、小羊の血のゆえに、彼に打ち勝ちました :

1. サタンはわたしたちを訴えるかもしれませんが、わたしたちは神の御子イエス・キリストの血がすべての罪からわたしたちを清めると答えることができます—— I ヨハネ 1:7。
2. わたしたちが告白し血を適用した後も、止まらないどのような外見上の罪定めも、神からの啓発ではなく、サタンの訴えです——9 節。
3. わたしたちは理由のない訴えを拒絶するだけでなく、理由のあるすべての訴えも拒絶しなければなりません。
4. 罪を犯すとき、わたしたちは神の栄光を現しません。しかし、尊い血に信頼しないと、さらに一層彼を侮辱することになります——マタイ 26:28. 参照、ヘブル 10:29。
5. わたしたちは常に血を適用し、完全ではないにしても、尊い血の下にいるのであると、悪魔に告げなければなりません—— I ペテロ 1:18-19. 使徒 20:28。

B. 兄弟たちは、証しの言のゆえに、彼に打ち勝ちました :

1. 「証し」とは、キリストの中には何があるかを他の人々に告げることであり、また証しの言葉とは、口に出して語られなければならないものです。
2. 勝利者は頻繁にキリストの勝利を宣言して、悪魔が主に裁かれたことを証ししなければなりません—— I ヨハネ 3:8. ヘブル 2:14。
3. サタンは、わたしたちが彼と論じ合おうとするときは恐れませんが、わたしたちがキリストの勝利についての霊的事実を宣言するときは恐れます——参照、歴代下 20:20-22 :
 - a. イエスの御名があらゆる名にまさるということは、一つの霊的事実です。わたしたちはそれを信仰によって、人々にだけでなく、またサタンにも宣言しなければなりません——ピリピ 2:9-11. I コリント 12:3 後半。
 - b. わたしたちは、サタンとその悪鬼どもに、イエスは主であり、主は勝利を得ており、サタンは彼の足の下に踏み砕かれたことを宣言しなければなりません——創 3:15. ヨハネ 14:30 後半. ローマ 16:20。

C. 彼らは死に至るまでも、自分の魂の命を愛しませんでした :

1. アダムの墮落のゆえに、サタンは自らを人の魂の命、人の自己と結合しました。サタンに打ち勝つために、わたしたちは自分の魂の命を愛さず、むしろそれを憎み、それを否定すべきです——マタイ 16:23-24. ルカ 14:26. 9:23 :
 - a. サタンは、わたしたちが自分の力の中で行動し、自分の魂の力、天然の能力をもって自分の中で行動することを願っています。
 - b. 天然の能力は、わたしたちが本来持っていて、十字架の働きによって決して対処されたことのない能力です。
 - c. 召会の失敗は、人が自分の天然の能力を持ち込むことによります。
 - d. 十字架の目的は、わたしたちの天然の力と能力を対処することです。それは、モーセとペテロの事例で見られるように、わたしたちがあえて自分で行動しないようになるためです——使徒 7:23-30. ルカ 22:32-34. I ペテロ 5:5-6。
 - e. わたしたちが取るべき態度は、どのようなかたちであれ自己によって生きず、自分の能力を評価しないで、何の自信も持たないというものであるべきです—— I コリント 2:2-4. ピリピ 3:3. 参照、イザヤ 11:2 後半。

2. わたしたちは自分を犠牲にする人、注ぎのささげ物でなければなりません。そして、天のぶどう酒であるキリストにわたしたちを満たしていただき、わたしたちを神にとってぶどう酒とならせなければなりません——ピリピ 2:17. II テモテ 4:6. 士 9:13:
- a. 注ぎのささげ物は、キリストが真のぶどう酒として神の御前に注がれて、神を満足させる方であることを予表します——出 29:40-41。
 - b. 使徒パウロは注ぎのささげ物となって、聖徒たちの信仰のいけにえと奉仕の上に注がれました——ピリピ 2:17. II テモテ 4:6。
 - c. 注ぎのささげ物は、単にキリストご自身を予表するだけではありません。それは、天のぶどう酒としてのご自身でわたしたちに浸透して、彼とわたしたちが一になり、神の享受と満足のために、また神の建造のために注がれたキリストをも予表します——マタイ 9:17. ピリピ 2:17. II テモテ 4:6。